

36回目を迎えた

チャリティーコンサート

吹奏楽部

こんにちは。吹奏楽部副部長の工藤裕之です。吹奏楽部は、現部員数が約七十人と、文化部では最大です。クラシックやマーチ、ポップスなど様々なジャンルの曲を練習しています。主な活動のひとつは学校行事での演奏です。入学式や卒業式のほか、体育祭や聖光祭などでも毎年演奏しています。昨年度は保土ヶ谷球場へ行き、高校野球部の秋季県大会決勝戦の応援も行ないました。

そしてもうひとつが、毎年三月に神奈川県立音楽堂で開かれているチャリティーコンサート(通称チャリコン)です。コンサートの義

援金は、横浜聖母愛児園に寄付させていただいており、この演奏会には校友会からも御支援をいただいております。おかげさまで今年で三十六回を数えることとなりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

部員たちにとって、一年間の練習の集大成を発表する場ともなっているチャリティーコンサートですが、今年は三月二十四日の日曜日に開催されました。構成は、中二以上の部員全員によるコンサートバンド、有志によるアンサンブルやビッグバンド、そして新入部員による中一バンドに分かれており、全部で約十五曲、時間にして二時間半ほどでした。また、今回はアンコール曲に振り付けを取り入れるなど、お客様により楽しんでいただくべく、現高三を中心に工夫をこらした新しいチャリコンを目指しました。「木星」などを演奏しましたが、アンケートの結果では御好評をいただいております。しかし、まだまだ課題点もたくさん見つかりました。

先輩たちの残してくれた財産を生かし、常に向上心を持って今年度も一年間頑張りたいと決意を新たにしております。今後も御支援のほど、よろしくお願いたします。



定期演奏会への誘い —弦楽オーケストラ部—



初めまして、弦楽オーケストラ部です。弦楽オーケストラはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、で構成されており、総勢十三名から成るクラシック音楽の弦楽アンサンブル集団です。オーケストラからラップ、笛、太鼓などを取り除き、純粹培養したのが我々です。

部の歴史は意外に長いのですが、「そんな部があったの？」といわれるほど影が薄かったのですが、去年から「これじゃいかん」と積極的に活動しています。

例えば中学入試説明会の前座で演奏し、受験生の保護者の方たちに「まあ、な

第1回 定期演奏会のご案内
日時 2002年11月16日(土)18:00
場所 横浜市教育文化ホール
(JR関内駅 南口徒歩1分)
入場無料

平成十四年度から文部省の学習指導要領が改訂され、公立を初め私立でも多くの学校がこの四月から週五日制がスタートしたことはマ

スコミ等でもよく報道されているが、聖光学院では従来どおりの六日制が続けられている。

これは、生徒や保護者の大学進学という要望に応えていくための十分な授業時間の確保と生徒にとって無理のない学校生活といった視点で何年もかけて学校が検討した結果だという。

ただ、聖光学院でも今年の四月から新しく土曜芸術講座というものをスタートさせた。これは「国際化」の時代にあつて、単に英語が使えるとかではなく芸術的な素養も重要であるとの趣旨から、中学二年生について土曜日の三・四校時に設けられたものである。

講座は、音楽・ヴァイオリン、クラシックギター、フルート、リコーダー、絵画、陶芸、木工、書道の全九コース。講師はほとんどが外部から招いた各分野の専門家である。中にはOB(27期)の渡邊朋憲氏もいて、木工を担当している。

まだ、スタートして間がないが、土曜日を楽しくしている生徒も多いようだ。お問い合わせは生徒たちの右脳を刺激し、バランスのとれた人間性を育んでもらいたいと思っている。

シリーズ 卒業生のお店紹介

第10回

ベンチャー企業(有)アコースティック インタラクティブ・ミュージックへの挑戦



菅沼究氏



28期の岡田謙之と申します。今回は趣を変えて、ベンチャービジネスをやっている卒業生という形で会社の紹介をさせていただきますことになりました。

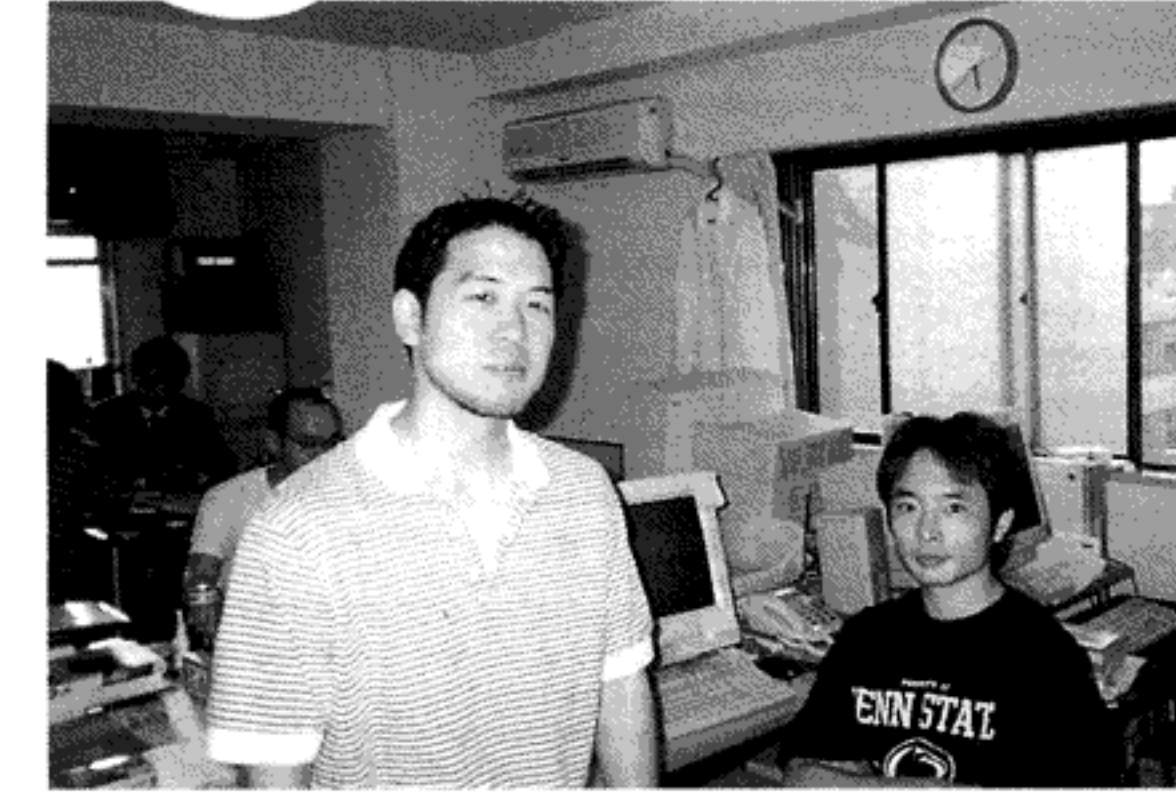
私は小さい頃からパソコンが大好きで、中学1年の時に親に買ってもらったパソコンで毎日プログラミングをして遊んでおり、その一方で音楽も大好きで、5歳からピアノを弾き始め、聖光ではバスバンド部でドラムや打楽器を担当し、

文化祭ではバンドでベースギターを弾いたりもしました。そして、聖光時代のこれらの日々が私の後の人生を決めてしまうことになりました。

東京大学を六年かかって卒業し、目指していた司法試験でも結果が出せないのでフラフラしていたある時、ブラバンと一緒に活動した29期の菅沼君から「コンピュータソフトの開発で人が足りないから手伝ってくれないか」と打診を受け

ました。ちょうどインターネットブームの時期でソフト開発の仕事はいくらでもあり、これをきっかけに、以後何度か一緒に仕事をすることになりました。そのうちに「会社を作ろう」という話で盛り上がり、どうせやるなら自分達にしかできないことをやろうと話合い、仕事でお金を稼ぎながら自動作曲の研究開発をやろうというビジョンを掲げ、一九九九年に有限会社アコースティックを設立しました。翌年には聖光の大変好評をいただいたおりの、何かのきっかけで大ヒットするのではないかと皮算用をはじめています。

今年一月には中小企業創造活動促進法の認定を受け、



岡田謙之(左)、本田貴久の両氏

会社住所：川崎市中原区新丸子東1-838
第7田中ビル603
☎：044-431-0561 Fax：044-431-0566
Web：http://www.acoustic-inc.co.jp/
Email：okada@acoustic-inc.co.jp

さらに現在は、日本貿易振興会(JETRO)の支援のもと、シリコンバレーに米国法人を立ち上げて今後の開発拠点としていく計画を進めています。すでに現地にてImprovistaInteractive Music, Inc.という会社を設立し、次期製品の開発資金調達と海外の市場調査を行っていません。まだまだ小さい会社なので苦労することは多いですが、周囲の方々の応援や協力でここまで頑張ることができました。これからも小さなベンチャー企業ならではの機動力を生かしつつ、大きな成功を掴めるように努力していきたいと思えます。

新刊紹介

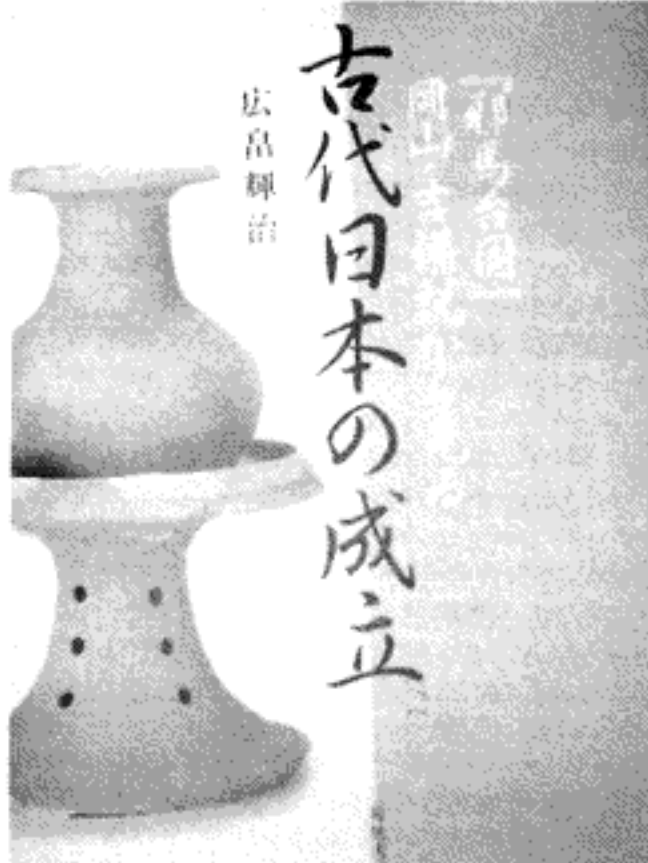


『邪馬台国』 岡山・吉備説から見る 古代日本の成立

広畠 輝治著

ならぬ情熱を感じつつ、本書を通じて日本の古代の生立ちに思いを馳せてみては如何だろうか。

神無書房 刊
二八〇〇円(税別)



古代日本の成立

何号か前の卒業生のお店コーナーで紹介した伊豆の某ペンションのオーナーから電子メールを受け取りました。会報の記事を見て泊りに来た同期生や他の期のOBが居るとのこと、この会報が役に立っていることを実感しています。

会報を読むだけではなく実際に活用していただくと卒業生のお店に行かれる機会がございましたら是非広報委員会宛に感想等をお知らせください。